

平成30年度品目別等輸出促進対策事業に係る事業実施報告書

1. 取組名 日本産りんご販売促進活動（秋田県）
2. 実施期間 平成30年11月23日（金）～25日（日）
3. 対象国 香港
4. 実施場所 DCH Food Mart Store（大昌食品専門店）3店舗
5. 出席者 JAあきた白神 営農部 1名
JA秋田ふるさと 営農経済部 1名
JA全農あきた 園芸畜産部 1名

6. 内容

【試食販売会】



店舗入り口に販売ブースを設置し試食販売を開催。マネキンから試食を渡してもらい、多くのお客様へ試食して頂いた。

美味しいということで購入するお客様が多く、大盛況となった。



マネキンさんも熱心に「秋田紅あかり」の特徴や美味しさをお客様へ説明。

DCHフードマート入口にて試食販売を実施。2個 41.9HK\$で販売。
多数の来客があり「秋田紅あかり」の認知度も少しずつ増加してきている。

【市場調査】



(カット西瓜 36.9HK\$)



(カットメロン 40.9HK\$)



(カットフルーツミックス 44.9HK\$)



(カットパイナップル 40.9HK\$)



(山梨県産シャインマスカット 179HK\$)



(熊本県産いちご 89HK\$)

カットフルーツの販売コーナーは豊富なアイテムが揃っている。しかしカット野菜については日本ほど定番化されていなかった。また果物は国内外様々な産地や豊富な品目がひしめき合っており、販売競争率が高い。

7. 成果

H30年産りんご（秋田紅あかり）輸出数量 4,060kg 前年比41%

DCHフードマート3店舗にて試食宣伝会を実施。販売メインとなる等階級は赤秀28玉・32玉・36玉。価格については2Pで41.9HK\$での販売となった。りんごについては、青森県産ふじが年間を通しての販売となっているが「秋田紅あかり」の特徴である酸味が少なく、甘さが際立つ美味しいりんごが現地では人気となっている。また取組開始から6年目となる「秋田紅あかり」の認知度が年々高まってきており、数量拡大の可能性は高いと感じる。

本年は春の低温、夏の高湿・干ばつ、秋の台風等、気象災害が多い年であった。中でも度重なる台風の落果に加え、傷果で等階級に大きく影響を及ぼしたため、数量を伸ばすことができなかった。

次年度は「秋田紅あかり」の栽培について、新改植した樹が、若木から成木になってきていることで年々出荷量が増加していることや、価格帯、気象災害時の対応など、輸出量の維持・拡大に向けた取り組みを関係各社と協議し進めていく必要がある。